

楓通信. 23



日光湯元ビジターセンター

奥日光の情報誌 NO.23

1999. 9. 17

年6回発行／一部50円

年間購読会費 1000円

(6回分・送料込)

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園美化管理財団あてに会費をご送金ください。(年途中からでもどうぞ)

振替NO. 00370-3-7232

環境庁 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL:0288-62-2321 Fax:0288-62-2378



自然情報

小田代原 植生調査

小田代原を取り囲むシカよけの電気柵ができて、1年が経ちました。シカが入らなくなって、植生はどのように変わってきたのでしょうか？この夏に調査を行いました。調査に協力してくれたのは、千葉大学のボランティアの学生さん達です。小田代原の周りの歩道を一周し、目に見える花をすべて観察しました。

結果はまだ整理中ですが、柵の効果は確実に現れているようです。ノハナショウブ、イブキトラノオ、ツリガネニンジン、ワレモコウなどは例年に比べてずいぶん多く見られました。

今後も引き続き調査を実施する予定です。

またまた小田代原に湖が出現

去年、台風の影響で原の真ん中にできた大きな水たまりが、カメラマン達を湧かせていました。今年の春にはその水も引いていたのですが、夏の雨でまた小さな湖が現れています。(9月現在)

冬の鳥

11～12月はよく群れをなしている鳥に出会います。マヒワ、ツグミ、カシラダカ、カラ類の混群など。

群れでいることは、餌を見つけやすいことと、早く外敵を察知でき、もし襲われても数羽の犠牲で多くの仲間が助かるからです。少し残酷に思いますが、それが「自然」なんですよね。

ある調査で、冬に混群を作っているカラ類のエナガやコガラが一日に食べる餌の量は、体重の約15～25%の量を摂取しているんだそうです。シャクトリムシの幼虫に換算すると、エナガ231匹、コガラ281匹。実際の彼等の食べ物は、草本・木本などの乾燥物や樹皮の裏で越冬している昆虫やクモを食べていると思われるので、冬の森で生き抜くことはとても大変なことなんですね。

＝出会えるかも？(上記以外)＝

キレンジャク、ヒレンジャク、アオシギ、ウソ、ベニマシコなど



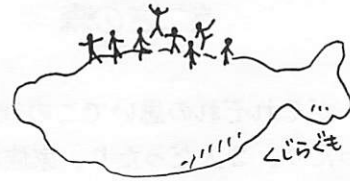
流星

しし座流星群 出現期間：11/14～19 極大日：11/17～18

期待のしし座流星群。去年は思ったほど流星が見られませんでした。今年はどうでしょう？地元の「ふるさとの星を見る会」でも観察会を予定していますので、興味のある方は問い合わせせてみて下さい。(“日光の催し”の欄参照)

くも

日に何回空を仰ぎ見ますか？雨上がりの晴れた空が、
美しい夕焼けに染まっているのを
ゆっくり見続けたこと それはいつ頃でしょうか。



刻々と変化していく雲は、とっても小さな水滴や氷の結晶でできています。風との共演で形を変えてゆくのです。

雲はだいたい10種類に分けられるそうです。

すじぐも、うろこぐも、うすぐも、ひつじぐも、おぼろぐも、あま（ゆき）ぐも、うねぐも、きりぐも、わたぐも、にゅうどうぐも。

天空ではいつも壮大な水と風のショーが展開しています。

今、見上げてみませんか？

(下)

花いっぱい増殖作戦その後…

シカの食害や人為的圧力により、著しく減少してしまった植物を増やそうと、美化管理財団では平成8年にボランティアや地元の方とともに「花いっぱい増殖作戦」と称し、ノアザミ、アヤメ、ヤナギランをビジターセンター周辺に植栽しました。この通信を読まれている方の中にも「ああ、そういえば…」と思い出される方もいらっしゃると思います。さて、その後植栽された植物達はどうなっていますと、放任主義ではあるものの職員によって除草をされ、株の増減、草丈などが記録されてきました。今年はこれに加え、日照や土壌の水分条件、除草の有無によってどれだけ生長量に差が出るのか、また、成績がよい場所はどこのような環境条件なのかを探ってみようと、7月、8月の花期にそれぞれ調査を行いました。結果は現在まとめ中ですが、ノアザミは日当たりが良いところが好みであることや、ヤナギランは群植しないと弱く、花が付くのは難しいことなどがわかってきています。今回は植栽した株の増減を表にしてお知らせしたいと思います。

植栽種	H8.6 植付時	H8.8 調査	H9.5.10 調査	H10.5.17 調査	H11.7~8 調査
アヤメ	215	199	136	104 (23)	290 (24)
ノアザミ	104	94	91	76 (2)	137 (13)
ヤナギラン	369	282	162	160 (7)	273 (15)

()内は、H10 に植え付けられたもの

このようにしてみると、全体的に株数が前年よりも大幅に増加していることがわかります。特にノアザミとアヤメの実生（種）での発芽が目につきました。年数はかかっても着実に植物は子孫を残していくのだなあと感じた調査でした。しかし、人の手によって守られたこれらの植物が湯元以外で自生し、自然界での本来のバランスで生育していくためには、減ってしまった要因（ここではシカの食害や配慮のない工事）に対して対処を考えなければなりません。バランスの崩れてしまった日光の自然の中で、人がどれだけ手を加えてよいのか考えるところですが、本当の植生復元はまだまだこれからだということは確かです。

(公園班 木村江里)

きづきの森

様々な人がそれぞれの思いでこの森へやってくる
1人だったり、2人だったり、家族だったり、
仲間だったり

森はすべてを受け入れ、発信もしている
楽しむ森、考える森、癒しの森。そして、
問題を掲げている森

空を見上げ 雲の流れを見つめ 深く深呼吸して
自分を見据えたその瞬間

森からのメッセージを受け入れられた？

ここにはそんな森がある

きづきの森

(下)

初モノ

昨年の 戦場ヶ原 初氷 10/11

男体山 初冠雪 10/21

湯元 初雪 11/10

(ふっかけ)

10月にもなるとかなり気温が下がります。暖かいところから来る方は思いもよらないのか、いつも薄着で寒そうです。

10月に氷が張るということは、気温が氷点下になるということ。冬だと思って来てください！

ハチに注意!

スズメバチの巣がいろいろなところで見つかっています。軒下などにぶら下がっているもの(よくガラスケースに入れてかざってありますよね)は、ご覧になったことがあるのでは？

実はそれ以外にも、木の洞や土の中など、見えないところにも巣が隠してあるのです。気が付かずに踏んでしまったり、近づいたりすると、巣を守ろうとするハチはもちろん攻撃してきます。

9月中はハチの行動も活発です。刺されると死に至ることもありますので、ヤブこぎはなるべく避けるなど、十分気をつけて行動するようにしましょう。



ばばっちょ発見

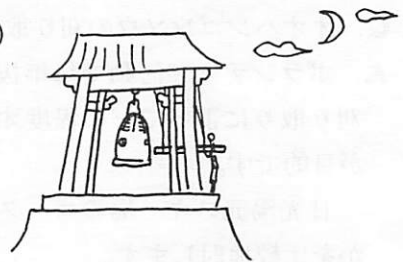
西ノ湖の近くの歩道を歩いていたら、道の真ん中にとてもとても大きなばばっちょ(クワガタ♀)を発見しました。この辺ではクワガタやカブトムシはあまり見かけないので、「自慢しよう!」と思い近づいてみると、まったく逃げる様子がありません。ばばっちょの近くにはついさつきすれ違った人のトレッキングシューズの跡が残っていました。どうやら踏まれてしまったようです。体をつかんで草むらに移動させても、ほんの少し足を動かすだけでした。きっとこのまま誰にも(ムシにも)知られずに死ぬんだろうな...と、動かないばばっちょをしばらく眺めていました。

ニンゲンの言え「かわいそう」となるのかも。でもよく考えてみれば、数からしたってほとんど全ての生きモノはそういうことになっていて(実はあたり前のことなんです)、改めて気づくとちょつとびっくり。逆に「そうか、ニンゲンの方がフシギなのか、ニンゲンって変わってるな」と気が付いて2度びっくり。



日光の催し (ヒジターセンター主催以外)

- 11 / 7 (日) 外山と秋の味覚を楽しむ会
昼食は野外料理です。10 / 21の消印有効 (定員100名)
[問合せ: 日光自然博物館 0288-55-0880]
- 11 / 17 (水) しし座流星群を見よう (詳細はお問い合わせ下さい)
[問合せ: ふるさとの星を見る会 佐藤一成 0288-21-3028]
- 11 / 25 (木) 子供強飯式 (七里・生岡神社)
- 12 / 11 (土) 大望遠鏡で星雲・星団を見よう (メルモンテ日光霧降: 旧メルパルク)
19:30に現地集合です。
[問合せ: ふるさとの星を見る会 佐藤一成 0288-21-3028]
- 12 / 31 (金) 歳末会・除夜祭 (輪王寺・東照宮・二荒山神社)
- 1 / 1 (土) 初詣 (輪王寺・東照宮・二荒山神社 他)
- 1 / 3 (月) 外山毘沙門天縁日 (輪王寺・外山)
- 1 / 4 (火) 武者祭 (二荒山神社中宮祠)
- 1 / 8 (土) オリオン座の大星雲を見よう (下原地区コミュニティセンター)
19:30に現地集合です。
[問合せ: ふるさとの星を見る会 佐藤一成 0288-21-3028]
- 1 / 12 (水) 夕市 (市役所前国道沿い)
- 1 / 14 (金) 興雲律院年越祭
- 1 / 16 (日) 冬の足跡ウォッチング
30 (日) カンジキ・スノーシューで戦場ヶ原をハイキングします。(定員各20名)
[問合せ: 日光自然博物館 0288-55-0880]
- 1 / 30 (日) 節分会追難式 (湯元温泉寺)



キャンプ場

湯元キャンプ場 ~ 11 / 初
テント持参の方のみ利用できます
(問合せ: 湯元ロッヂ 0288-62-2532)
キャンプ場以外でのテント設営は
禁止されています

スキー場

湯元スキー場 12 / 上旬~
菖蒲ヶ浜スキー場 12 / 23~
丸沼高原スキー場 10 / 23~

交通

11月からは路面が凍結することもあります。チェーンまたはスタッドレスタイヤを必ずご用意下さい。特に4WDのRV車、意外とよく落っこちてます。甘く見てはいけません。(状況はお問い合わせ下さい)

また、冬の路上駐車、路上でのチェーンつけは、そこを通るすべての車にとっても危険です。絶対ダメ!

低公害バス	12 / 1から運休
中禅寺湖機船	"
中禅寺温泉ロープウェイ	"
中宮祠足尾線	12 / 中~下旬から閉鎖
金精道路	12 / 下旬から閉鎖
山王林道	雪が積もったら閉鎖

ニュース

▶ビジターセンター冬期休館のお知らせ

今年度の休館期間は、12/15(水)～1/31(月)となります。

(年末年始：12/30～1/3は開館いたします。)

休館中も職員はおりますので、お電話でのお問い合わせなどは通常通り。お気軽にどうぞ！

▶ボランティアハウス完成

ビジターセンター前の第2駐車場脇に、日光パークボランティア等の新しい活動拠点となる“ボランティアハウス”が完成しました。

▶県立日光自然博物館 渥美部長に直撃インタビュー

Q. オオハンゴンソウの刈り取りの計画があるそうですが？

A. ボランティア活動で毎年抜き取る作業は行っていますが、なかなか少なくならないので、刈り取りによってどの程度オオハンゴンソウの勢いを弱めることが出来るのかを調査するのが目的です。

日光湯元スキー場のコースをA～D地区に区分けして、どの段階の切り取りが一番効果的かを比較検討します。

A地区…6月中旬に刈り取り

B地区…7月下旬に刈り取り

C地区…手で抜く

D地区…何もしない(比較対照地区・通常の秋の草刈りはします)

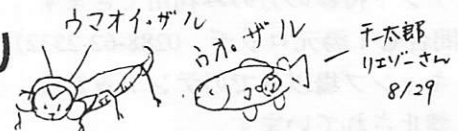
オオハンゴンソウの密度、背丈、他の植物などの変化の継続的調査を行います。

Q. 県立日光自然博物館リニューアルオープンについて

A. 以前売店だったところに、9月下旬よりインフォメーションコーナーを設置。リアルタイムな情報提供をしたり質問にお答えする解説員が常駐します。「ビジターセンター」的な機能を目指したいと思っています。

今までと違うのは、観てもらふ施設プラス自然情報を提供する場所へ機能を強化していくこと。すでに、インターネットでの情報提供は始まっています。皆さんに親しんで利用していただけるような楽しいコーナーにしたいと考えています。また、博物館を起点とする観覧コースを設けて、自然の案内も行っていきたいです。

ひとことノートより



9/ 3 (森のコンサート最終日)

私たちは明日帰る予定です。森コンは楽しみだねえ

(奈さん)

9/11

切刈へ行きました。静かでもっともいい所でしたが、一緒に行ったお婆さんが木の階段が歩きにくくてぼやいていた。

(シーさん)

ひとことノートはビジターセンターの展示室に置いてあります。(18冊目に突入しました!)

昔の話 聞いた話

その七、なつかしの男体山登拝祭…の話（教えてくれた人：中禅寺の皆さん）

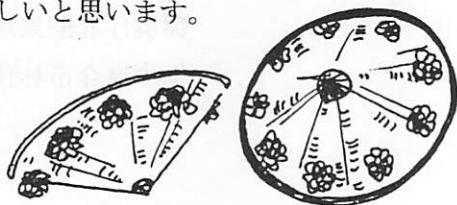
今年も二荒山神社（中宮祠）の男体山登拝祭が行われました。7/31～8/7の期間中、神社の境内にはたくさんの提灯が吊り下げられ、電球で飾られた三階建て(?)のやぐらが登場します。お囃子に合わせて「深山踊り」を踊り、真夜中、参拝者が男体山に登り始めます。でも、さみしいことに、年々踊りの輪は小さくなっているようです。昔のお祭りはどんな雰囲気だったのでしょうか…

誰に聞いても、昭和40年代頃まではずいぶんと賑わっていたようです。日光市街からたくさんの人達が上がってきたのはもちろん、市外、県外からも登拝や見物の人々が集まり、こちらへ向かう両毛線（日光まで入ってきている東武線・国鉄はあたりまえ！ということですね）が満員で乗れなかった、というのですからその盛り上がりぶりが想像できます。中禅寺のバスターミナルから神社までは人でぎっしり埋まり、宿屋だけでなくお土産屋や食堂の座敷にまで、午前0時を待つ登拝客がゴロゴロしていたそうです。境内の踊りの輪は幾重にもなり、場所が足りずに北側の土手の上にまで広がりました。

お祭りを一番楽しみにしているのは、もちろん地元の人達のはず。外へ働きに出ていた人なども、この日ばかりは帰省します。おかみさん達は忙しい店を切り盛りしながら、店の子に夕飯を食べさせ、ゆかたを着せて出してやります。旦那さん達もゆかたを着て出かけて行きました。当時は大人数だった地元の青年会は、その時のために長いこと練習してきた笛や太鼓で踊りを盛り上げ、もちろん、お酒もかなり飲んだのでしょう。一升瓶やビール瓶を担ぎ、ゆかたのままで男体山に登ってしまったこともあったそうです。ところが、登山道もまた混んでいて、早く行かないと7・8合目で足止めをくったとか。出遅れた人達は、頂上で御来光を拝んで下山する人を待って、8時9時になる頃やっと上まで到達できたんだそうです。

お祭りの最後の夜だったか、中禅寺湖に船を浮かべてお囃子を演奏した年もありました。踊りの時とはまた違った、とても静かな落ち着いた曲で、さみしいくらいに山の雰囲気にぴったりだったそうです。

お祭りのことを聞くと、みなさん自分の若い頃を思い出し、‘ふにゃへん’と目を笑わせて話してくれました。周りにいた人達も身を乗り出して相槌を打っていました。お祭りってそこに住む人達にとってはすごく大切に、リクツ抜きで楽しくて、いろんな人達と何だか知らないうちに団結してしまうという、フシギで特別な日ですね。そんなのが自分のふるさとにあってそれがわかっている人は、絶対幸せ！それだけでも得してると思います。中禅寺のお祭りが、地元の人達に支えられて、地元の人達自身をもっともっと楽しめるお祭りであってほしいと思います。





奥日光の公園づくり～今年の予定～

今、奥日光では、国立公園の自然環境保全と質の高いサービス提供を目指して、公園施設の集中整備が進められています。これまで必要とされながら予算不足でできなかったものを一気にやっってしまうという計画（平成7～13年度の7ヶ年計画：通称「緑のダイヤモンド計画」）で、湯元の園地再整備やボランティアハウスの設置、戦場ヶ原の木道の改修、小田代ヶ原のシカ侵入防止柵の設置……等々が行われてきました。

今年も、各種工事を実施中ですが、これから新たに工事にかかる主なものの概要は次のとおりです。

湯元(環境庁事業)

- ◆ お客さんが集まる湖畔とビジターセンターや中心街との行き来がしやすいようにするため、湖畔の第5駐車場を廃止して芝生広場にするとともに、レストハウス前の車道を一般車進入禁止（スキーシーズンを除く）とします。また、ビジターセンターと湖畔を結ぶ遊歩道を設置するとともに、林間の下刈り（残すべき植物群落は残す）も行って、ビジターセンターからの湖畔の見通しを良くします。
- ◆ 廃止する第5駐車場の機能の一部を確保するために、今年完成したボランティアハウス前の空き地に駐車場を整備します。
- ◆ ファミテックイン奥日光などの撤去跡の空き地に芝生広場を整備します。

戦場ヶ原(環境庁事業)

- ◆ 逆川～泉門池～赤沼の老朽木道取り替え、ぬかるみ区間への木道設置、小規模な待避所兼休憩展望テラスの設置（青木橋～赤沼の湿原区間の一部）、老朽標識の取り替えを行います。

中禅寺湖(栃木県事業)

- ◆ 中禅寺湖に乱立している栈橋や岸边に並べられているボート類を整理して、美しい湖畔をのんびり散策できるようにするために中宮祠で大がかりな湖畔整備が行われています。今年も平成13年度にかけて、統合栈橋2基、木製デッキ・歩道などを整備します。
- ◆ 東岸の旧イタリア大使館別荘を解体修復するとともに、北岸の西六番別荘地跡地に休憩広場を整備して、それぞれ中禅寺湖一周歩道の休憩ポイントとします。

この他、今後の話ですが、野生のシカの食害によって湿原の花々がほとんど見られなくなってしまった戦場ヶ原を柵で囲ってシカを入れないようにすることなども検討中です。

* 工事に関するお問い合わせは……

環境庁北関東地区国立公園・野生生物事務所 TEL:0288(54)1076

栃木県今市林務事務所

TEL:0288(21)1178

次ページに続く →

さて今回は、こういった公園整備がどのようなしくみで行われるのか、ということについてごく大雑把にお話ししてみたいと思います。

国立公園の自然景観を守ったり訪れる人々が利用しやすいようにするためにどこにどのような種類の施設（宿泊施設、キャンプ場、登山道、駐車場……等々）を整備すべきか、ということは、国立公園ごとに作られている「公園計画」というものに大まかに書かれています（「公園計画書」と「公園計画図」は環境庁の事務所、県庁、市役所などで見ることができます。）。

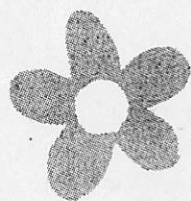
公園施設の整備は、公園計画に従って、国、地方自治体、民間の何れでも行うことが可能ですが、公共性の高い施設はほとんど国、地方自治体が行っています。整備に至る大雑把な手順を環境庁の例で見てみましょう。

- ①毎年8月頃、翌年度の整備予定箇所の大きな予算を環境庁本庁に要望します。この時点で、どこで、何を、どのくらいの量整備するかを大まかに決めます。
- ②環境庁から大蔵省に大きな予算を要望します。
- ③10～11月頃、翌年度の整備予定箇所の予算を環境庁本庁に要望します。この時までに具体的な整備内容を決めておきます。
- ④環境庁から大蔵省に予算を要望します。
- ⑤大蔵省が作った予算案が国会で審議され、翌年度の国の予算が確定します。
- ⑥新年度になって、予算の範囲内で各国立公園に整備費が配分されます。環境庁の事業は実際の施工を県に委任することが多いです。
- ⑦整備予定箇所の測量などを行い、施設の設計を行います。
- ⑧設計ができれば、関係法令手続きを行い許可を得ます。
- ⑨施工業者を決めて工事にかかります。工事は、できるだけお客さんの多い時期を避けて行われます（できないこともあります）。
- ⑩工事は、年度内に完了させるのが原則ですが、雪のある期間は工事ができないので、翌年度に繰り越されることもあります。
- ⑪景気対策などで補正予算が組まれた場合、急遽翌年度に予定されていた事業が前倒して行われることもあります。

つまり、ある年に施設を作りたいと思ったら、前の年の夏までに中身をだいたい決めなければならないということなのです。また、最短でも完成するのは秋か冬、工事が延びれば翌年ということになります。思い立ってもすぐに施設は整備できないので、日頃から、公園事務所では、お客さんからの声を集めたり、地元の人話を聞くなどして、整備の必要な箇所について情報を収集するようにしています。ビジターセンターやパークボランティアのみなさんは、公園を訪れるお客さんと直接話す機会が多いと思いますので、事務所あてどんどん情報を寄せていただくようよろしくお願いいたします。

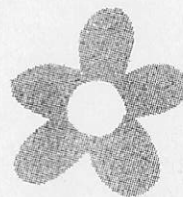
※ 秀田次長より ※

（…というわけで、皆さんご意見がありましたらぜひお聞かせ下さいね！）



日光湯元ビジターセンター

99年 11月の催し



クリーン大作戦(鳴虫山登山)

ゴミ拾いを兼ねたハイキング
今年最後の大掃除です

シカの森ウォッチング

シカの季節移動のルート上を観察
講義のみの参加もOKです

わらそうり作り

いつもはお店で買っている履き物を
自然の材料から自分で作りましょう

日にち 11/3 (水・祝)
時 間 9:00~16:00
場 所 鳴虫山登山道
参加費 無料
定 員 30名
雨天時 小雨決行
その他 予約が必要です,
健脚向き!

日にち 11/7 (日)
時 間 9:30~17:00
場 所 半月峠~阿世湯方面
(山道を6時間程度歩きます)
参加費 1000円
(講義のみは200円)
定 員 15名
雨天時 雨天決行 (一部変更あり)
その他 予約が必要です

日にち 11/13、27 (第2・4土曜)
時 間 13:30~16:00
場 所 日光湯元ビジターセンター
参加費 300円
定 員 各回10名
雨天時 雨天決行
その他 予約できます
(空きが有れば当日参加も可)

早朝湯元散策

湯元温泉内をスタッフがご案内
のんびり、ゆっくりペースです

日にち 11/7 (日)
時 間 6:30~7:30
場 所 湯元温泉周辺
集 合 日光湯元ビジターセンター前
参加費 無料
雨天時 雨天中止
その他 予約は必要ありません

スライドとお話

日光の自然に関するスライドを上映
スタッフがわかりやすくお話しします

日にち 11/6、20 (第1・3土曜)
時 間 16:00~16:30
場 所 日光湯元ビジターセンター内
レクチャールーム
入場料 無料
その他 予約は必要ありません

冬期休館のお知らせ

12/15~1/31は休館いたします
(年末年始:12/30~1/3 は開館)

電話でのお問合せなどは、
普段通りお受けしております

11

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 クリーン	4	5	6 スライド
7 早朝散策 シカの森	8	9	10 わらそうり	11	12	13 わらそうり
14	15	16	17	18	19	20 スライド
21	22	23	24	25	26	27 わらそうり
28	29	30				

12

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15 冬期休館	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30 開館日	31 開館日	

開館時間(平日・休日)9:00~16:30
(土曜・休前日)9:00~17:30
(年末年始)9:30~16:30
水曜日は休館日です(祝日は開館します)



NIKKO NATIONAL PARK
環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

まだまだ
募集中!!

奥日光動物探偵団

日中、森で生き物に出会うのはとても難しいですね。彼らの生活の跡を見つけるにもちょっとコツがいりそうです。そこで!動物に詳しい団長のもと、森の中で小動物の通り道や食事場所、うんちなど、多くの物証を集め、そこから生活環境や動物像を推察してみましょう。

さあ、今ここに「奥日光動物探偵団」結集だー!

主催 (財)自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日時 平成11年9月25日(土)

集 合 日光湯元ビジターセンター

団 長 手塚牧人氏(動物研究家)

参加費 大人1000円、子供(小・中学生)800円

募集人数 20名

スケジュール
9:45 VCにて受付
10:00 開会
出発
金精沢付近へ
途中昼食
14:30 VC着
15:00 解散



持ち物 昼食、飲み物、おやつ、雨具(カッパ)、敷物、軍手、帽子、
しっかりした靴(長靴がベター)、汚れてもいい服装で

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
◆グループの場合はまとめてお申し込みください。

その他
◆当日の状況により、スケジュールを一部変更する場合があります。
◆キャンセルされる場合はお早めにご連絡下さい。
前日以降のキャンセルは、キャンセル料(参加費の半額)をいただきます。
◆小雨決行です。不明の場合は、当日朝6:30以降にビジターセンターまでお問い合わせください。

環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

まだまだ
募集中!

手作りわらぞうりでお散歩しよう

いつもはお店で買っている履き物を、自然の材料から自分で作ります。
最後には実際にそれを履いて、湯元を散歩する予定です。がんばって作ってくださいね!

主 催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成11年10月2日(土)

集 合 日光湯元ビジターセンター

参 加 費 300円

募集人数 20名(小学校3年生以上)

スケジュール 9:45 ビジターセンターカウンターにて受付開始

10:00 クツで集合、開会
作業開始(途中昼食)

わら打ち
わらをなう練習(難関!)
ぞうりを編む

14:30 作業終了
わらぞうりを履いて散歩に出発

15:30 ビジターセンター解散
ぞうりで帰宅(?)



持 ち 物 お弁当、飲み物(ご自由に)
はさみ(グループなら2, 3人で1つあればOK)
わら、わら打ちの道具、鼻緒用の布等はこちらでご用意いたします。
布はご自分で気に入ったものを持ってくる構いません。
(薄いものの方が作りやすいようです)

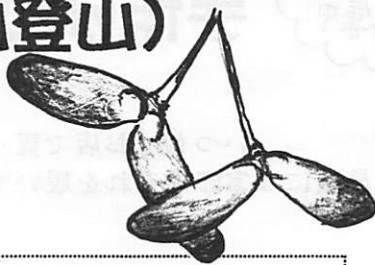
申 込 方 法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
◆グループの場合はまとめてお申し込みください。

そ の 他 ◆当日の状況により、スケジュールを一部変更する場合があります。
◆キャンセルされる場合はお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルは、キャンセル料(参加費の半額)をいただきます。

環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

クリーン大作戦（鳴虫山登山）



主催 (財) 自然公園美化管理財団
日光市働く婦人の家 ぽびん桜ヶ丘
日光パークボランティア活動運営協議会

日時 平成11年11月3日（水・祝）
9:00集合～16:00解散予定

参考時刻
JR：宇都宮 7:36→ JR日光 8:25
東武：浅草 6:20→ 東武日光 8:24

集合 JR日光駅前
※送迎バスが出ます
清滝婦人の家（8:30発）からJR日光駅間

参加費 無料

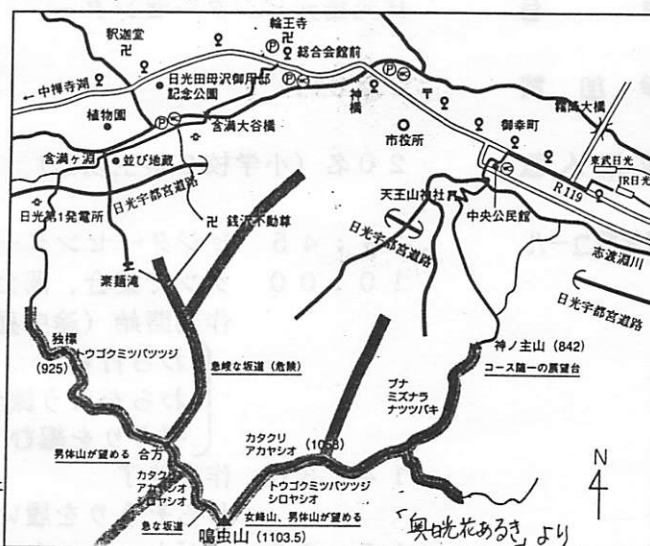
募集人数 30名

スケジュール
8:45 受付開始
9:00 開会
9:30 鳴虫山登山口



↓
神ノ主山
↓
鳴虫山
↓
日光第1発電所
↓

16:00 働く婦人の家 ぽびん桜ヶ丘 解散予定



持ち物 昼食、飲み物、おやつ、リュックサック、雨具
(火バサミ、ゴミ袋など、清掃に必要な道具はこちらで用意します)

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
◆ビジターセンターまたは日光市働く婦人の家までお申し込み下さい。

◆グループの場合はまとめてお申し込みください。

その他
◆小雨決行です。不明の場合は当日朝6:30以降にビジターセンターまでお電話下さい。
◆予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。
◆参加中の怪我については基本的に参加者の責任となります。健康保険証をお持ち下さい。
◆イベントに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

日光市働く婦人の家 ぽびん桜ヶ丘
321-1443 日光市清滝桜ヶ丘 210-7
TEL 0288-53-1010
FAX "

日光湯元ビジターセンター
321-1662 日光市湯元
TEL 0288-62-2321
FAX 0288-62-2378

シカの森ウォッチング '99

日光のシカは冬に山を下り、春には再び山に上る“季節移動”を繰り返しています。そろそろ山を下り始める11月、今年はこの移動ルート上で、足尾へ下るシカを観察します。日光のシカについて研究されている本間先生の講義もありますので、日頃のシカについてのギモンを解くチャンスです。

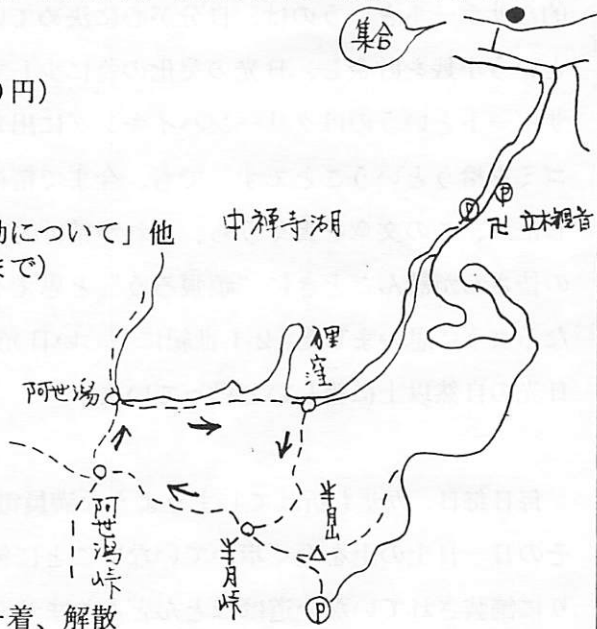
- 主催** (財)自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会
- 日時** 平成11年11月7日(日)
9:30集合～17:00解散予定
- 集合** 日光市中宮祠出張所(コミュニティセンター)
日光市中宮祠2478 0288-55-0078
- 講師** 本間和敬氏(哺乳類学会会員、野生生物保護学会会員)



- 募集人数** 15名(上り下りのある山道を6時間程度歩ける方)
※但し、講義のみは定員外でも聴講できます。希望の方は「講義のみ」としてお申し込み下さい。

- 参加費** 1000円(講義のみの場合は200円)

- スケジュール**
- 9:15 受付開始
 - 9:30 開会
 - 9:40 講義「シカの季節移動について」他
 - 11:00 送迎車で移動(狸窪まで)
 - 11:15 狸窪出発
 - ↓
 - 半月峠
 - ↓
 - 阿世湯峠
 - ↓
 - 阿世湯
 - ↓
 - 16:45 狸窪(送迎車で移動)
 - 17:00 コミュニティセンター着、解散



- 申込方法** 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
 - ⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
 - ⑧シカについて質問したいことがあれば、その要旨
- ・グループの場合はまとめてお申し込みください。

- その他**
- ・雨天決行ですが、当日の状況により、予定やコースをを一部変更する場合があります。
 - ・キャンセルされる場合は3日前(11/4)までにご連絡下さい。2日前(11/5)以降のキャンセルは、キャンセル料(参加費の半額)をいただきます。



NIKKO NATIONAL PARK
環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER
〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

読者の声

自分は今まで32年間、人生を自己中心的に生きてきました。3年前にアメリカに渡り、はや3年、今年の3月に帰国しました。今までの人生を反省し、日本に帰国したら、何か人のためになることをしようと決めました。そして、自分に出来ることは何かを考えました。そして仕事に疲れたとき心の洗濯のためにたびたび訪れていた日光のために何か出来ないかと思いました。そのとき、ゴミをひろうことならお金もかからずに、自分の体一つで出来ると心に浮かんだのです。それから、何か日光でゴミを拾うグループがないかと調べた結果、日光湯元ビジターセンターのことを教えられ、クリーンハイキングに巡り会ったのです。日光行きは自分の楽しみであり、“ゴミを拾う”ことは自分が人様のために役に立てる唯一の機会であると考えています。ビジターセンターの行事の中で自分に出来ることは、大いに楽しみながら、ビジターセンターの方達をサポートしていくことだと思います。サポートといっても、物資的なサポート、肉体的なサポート、精神的なサポートと自分の中では大きく3つに分かれています。

このうち、物質的なサポートと肉体的なサポートは何とか自分なりにしたと考えています。物質的なサポートというのは、自分が心に決めていることで、日々の暮らしの中で発生する1円、5円という小銭を貯金し、日光の美化の為に少しでも役立ててもらおうということです。また、肉体的なサポートというのはクリーンハイキングに出来る限り参加し、自分の体を利用して一つでも多くのゴミを拾うということです。でも、今まで精神的なサポートはどうすればよいのか分かりませんでした。この文章を書くうち、これが精神的なサポートなのかもと感じました。ビジターセンターの皆さんが読んだときに“頑張ろう”と思えるような文章を書ければそれが精神的な面での応援になるように思いました。21世紀に美しい日光の自然を引き継ぐという使命に取り組む人達の姿は、日光の自然以上に美しいと思っています。

(寺山隆弘さんより)

毎日毎日、カサも折れてしまうような満員電車に乗り、都内の会社に通っています。ある日ふと、その日一日土の上を全く歩いていないことに気がつき、大ショックでした！考えてみると、家の周りに舗装されていない道はほとんどありません。お皿の上にみんなが住んでいるような気がして、とてもこわくなりました。こんな街の中から離れて自然を満喫したいと思い、週末になるとよく奥日光へ出かけます。

でも、最近ではその奥日光でさえ、ビックリしてしまう風景に出会います。森の中に突然現れるびかびかの煉瓦の歩道や、自然“もどき”の芝生の公園など、なぜそこに必要なのでしょう？まるで都会と同じです。これらをつくった方達は、奥日光の良さを本当に知っているのかな？と不思議でたまりません。せめて奥日光では、自然のままの土の道を歩きたいと思います。(Mさんより)



お手紙ありがとうございます！引き続き皆さんからの声をお待ちしています。



(ほんの一言でも結構です。☆ これらのご意見に対する感想などもどしどしお寄せ下さい。)

駐車場班から

財団に勤務して4年目。充実(?)した日々を送れていると感じています。

私の担当は湯滝駐車場。そんな関係で色々な人と出逢います。出逢えてうれしい人、腹の立つ人、様々です。今回は腹の立つことを紹介してみましょう。

一言で簡単に言ってしまうえば、マナーの悪さ（モラルの欠如）と言えられると思います。駐車場で現代社会そのもの。自分さえ良ければ他人のことはどうでも…。

現代はアウトドアブーム。ワカモノから年輩の人達まで、ハイキング、登山、キャンプと自然と親しむことは大切なことです。でもしっかりマナーを守っている人（理解している人）は何割いるのでしょうか？ブームに乗るだけでなく、しっかりとしたポリシーを持つことの方が先ではありませんか？

駐車場の中でも同じ。駐車帯が作ってあるのに自分勝手に車を置く。注意をうながせば「俺の何が悪い」といった態度…。清掃をしているのを横目で見ながらゴミを捨てる。この人達は何を考えているのか理解できないことがたくさん。

残念ながらスペースの関係で今一番言いたい“タバコの投げ捨て”のことは次回のチャンスに。最後に好きな話を

「自然は子孫からあずかったものだから、自分たちは何も手を加えず返すんだ」

（あるアメリカインディアン）

私たちは「守る」という言葉にアグラをかいていませんか？

星野でした。

私のおすすめCD



PAINT THE SKY WITH STARS

ENYA

今回は読者からのオススメです。

「ぼくが紹介したいのは、アイルランドの女性歌手エンヤのCDです。タイトルは“Paint the Sky with Stars”といいます。日本語に訳すと“星で夜空を飾ろう”というロマンチックなタイトルです。

この中でエンヤは、川の流れ、海、水、風、花、木、星、月、など様々な自然の姿を表現しています。このCDを聴いていると自然は大きな生き物で、そこには神の摂理が働いていると感じさせられます。自然を愛する人にはエンヤの魅力が分かった僕は思います。」

（寺山隆弘さん）

一冊の本



虫のおもしろ私生活

鳥のおもしろ私生活

ピッキオ編著

主婦と生活社 ¥1,200



図鑑にはなかなか載っていない鳥や虫の生態がよくわかります。これを読んだら、カメムシにだって愛着が湧いてしまうはず。（カメムシも鳴くって知ってました?!）



イベント報告

森で作った楽器でサンバ

8/18 参加者21名

講師：ピアニストの宮地ゆみ先生

初めての試み。参加者も初めての経験。親子や友達同士、ご夫婦、親戚？など様々に参加していただきました。流れは、初めにスタッフが準備した自然の材料で作った楽器（結構苦勞して作った自信作）で音を出したり、どうやって作ったかを話してみたり、そこからイメージを膨らませて参加者が一斉に湯元周辺へ「音」の材料を求めて散っていききました。夢中になって探し回っていた人や、楽しみながら探していた人など、探し方にも人それぞれでした。ビクターセンターへ戻ってきたら、今度は加工作業。組み合わせたりくっつけたり、ぶらさげたり紐を通したり、皆さん真剣そのもの。あーでもないこーでもない議論しながら一生懸命形にしてらっしゃいました。

午後2時サンバの練習開始。曲は「コパカパーナ」に合わせて、3パターンあるリズムをそれぞれ演奏していきます。トラブルも発生しつつも何とか一つの曲にまとまりました。先生、アシスタントの方々、そして参加者の皆さんお疲れさまでした。自然の音って結構いい音色でしたよね。みなさんもチャレンジしてみては？

(しも)

気 象

	月	中宮祠	戦場ヶ原	湯 元	男体山頂
平均気温 (℃)	1 1	4. 8	2. 5	3. 1	- 3. 1
	1 2	- 0. 4	- 2. 5	- 0. 8	- 1 2. 7
	1	- 3. 1	- 6. 9	- 5. 3	- 1 4. 7
降 水 量 (mm)	1 1	1 8 4. 0	5 4. 5	6 7. 0	不 明
	1 2	5 1. 6	2 0. 8	5 4. 0	不 明
	1	5 0. 8	3 1. 0	5 9. 0	不 明

イベント報告-II

皆さんのご協力でこんなに成果があがりました

7/20 グリーン大作戦(光徳・参加者30名)

可燃ゴミ大袋6、不燃ゴミ大袋7

8/ 8 グリーンハイキング(中禅寺湖畔・48名)

可燃ゴミ大袋18、不燃ゴミ大袋21

8/21 オオハンゴンソウ等帰化植物除去作戦

(戦場ヶ原、湯元・約200名)

オオハンゴンソウ、ハルジョオン、

オオアワダチソウなど、約20トン

ありがとうございます！

〈ご寄付をいただいた方々〉

寺山隆弘さん(小銭たくさん、CD) / 中宮祠小中学校 佐藤教頭先生(クリーンキャンペーン・ヒカリゴケの写真) / 山形護さん(滝たんけんの写真、切手) / 吉羽光郎さん(ベンチ) / 学習院光徳小屋 市川陸雄さん(アオダイショウのぬけがら特大) / 鏡池堂さん(スーパーの袋) / 赤坂毅さん(湯元山の家の資料)

宇都宮の日の出入り

	出	入
1 1 / 7	6 : 0 9	1 6 : 3 9
1 2 / 7	6 : 3 8	1 6 : 2 5
1 / 6	6 : 5 3	1 6 : 3 9

次号は
12月下旬
発行予定

